

「地域再生システム論」 第4回

～バイオマス資源を活かした地域活性化の可能性～

エネルギー資源としてだけでなく、『地域活性化』の『手段』としての「バイオマス」の可能性に関して、皆さんと一緒に考えましょう！



バイオマス資源の一つである「牛(繁殖牛)」を活用した中山間地域農業集落



広大な干拓地を活用した「バイオマスタウン笠岡」

2008年12月13日(土)午後1時～4時 農学部Ⅲ号館4階多目的室

講師

・中国四国農政局 企画調整室 近藤 浩氏 ～基調講演～
「バイオマスをめぐる情勢について」

・笠岡市役所政策部干拓調整課 陸援隊グループ 永瀬秀雄氏
「バイオマスタウン」である笠岡市の取り組み事例を紹介

・独立行政法人食品産業技術総合研究機構 中央農業総合センター 千田雅之氏
放牧畜産による農林地資源の活用と農村コミュニティ再編の可能性と課題

パネラー 大学院環境学研究科・博士後期課程 竹内重吉氏
:笠岡湾干拓地を事例とした研究の紹介

コーディネーター 岡山大学大学院環境学研究科 駄田井(だたい) 久
(hisashi@cc.okayama-u.ac.jp)